

2022年3月期 第1四半期 決算のお知らせ

【単体】	経常利益	9億 4百万円	(前年同期比	△2億 28百万円)
	四半期純利益	6億 77百万円	(△4億 33百万円)
【連結】	経常利益	6億 28百万円	(△2億 40百万円)
	親会社株主に帰属する四半期純利益	3億 54百万円	(△4億 68百万円)

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、7月29日（木）、2022年3月期（2021年度）第1四半期の決算を発表いたしました。

1 損益（単体）

経常収益は、国債等債券売却益や株式等売却益の減少により、前年同期比 30億 33百万円減収の 77億 17百万円となりました。（増加率△28.2%）

本業での利益を示す**コア業務純益**は、資金利益は減少したものの、役務取引等利益の増加や経費の減少により 2億 31百万円増益の 13億 97百万円となりました。（増加率 19.8%）

一方、**経常利益**は、与信関係費用が増加したことにより、2億 28百万円減益の 9億 4百万円となりました。（増加率△20.1%）

四半期純利益は 4億 33百万円減益の 6億 77百万円となりました。（増加率△39.0%）

2 損益（連結）

経常収益は、前年同期比 30億 94百万円減収の 86億 72百万円となりました。（増加率△26.2%）

経常利益は、2億 40百万円減益の 6億 28百万円となりました。（増加率△27.6%）

親会社株主に帰属する四半期純利益は 4億 68百万円減益の 3億 54百万円となりました。（増加率△56.9%）

連結損益の増減は、主に銀行単体の増減要因によるものです。

3 預金および貸出金残高（単体）

預金（譲渡性預金を含む。）の期末残高は、個人、法人および公金預金の増加により、前年同月末比 2,111億円増加し 3兆 1,147億円となりました。（増加率 7.2%、過去最高残高となりました。）

貸出金は、個人ローン、事業先向け貸出および国・地公体向け貸出の増加により、前年同月末比 1,775億円増加し 1兆 8,257億円となりました。（増加率 10.7%）

貸出金のうち、中小企業等貸出は、前年同月末比 501億円増加し 9,983億円となりました。（増加率 5.2%）

詳細につきましては決算短信をご参照ください。